



学校だより6月号

令和5年5月31日
横浜市立六つ川小学校
ホームページ

学校教育目標

自らがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>



リーダーとしての姿

校長 鐘江 ミサ

先日、職員から、毎日登校のサポートしていただいている学援隊の方から「登校時に5、6年生が挨拶をしっかりと、下級生のよいお手本になっているよ。」というお話があったと報告を受けました。令和5年度が始まって2か月あまり、とても嬉しく感じ、いつか直接本人たちに伝えたいと思っていました。そして、そのチャンスがやってきました。29日(月)に、「よこはま国際平和スピーチコンテスト」校内選考会が行われたのです。

まず、6年の各学級の代表者2名、計6名の子どもたちが、持ち時間3分で、『国際平和のために、自分がやりたいこと』を共通テーマに、一人ひとりが今感じていることをまとめ、はっきりした声で、5年生、6年生にスピーチを行いました。問いかけから始まり、自分の経験、感じたこと、そして、今自分たちに何ができるのか、自分の言葉で伝えようとする気持ちがあふれている素晴らしいスピーチでした。6年生は、全員が国語の学習の中で、スピーチ原稿を書き、制限時間の中で話す学習をしています。今回は、全体の学習のまとめでもあるわけです。地球環境、世界平和、人とのつながり、児童労働等、どのテーマも自分の身近なことに置き換え、真剣に考えてまとめてあり、5年生はとても真剣に聞いていました。私は、体育館の後ろのほうにいましたが、子どもたちの背中が、一人一人のスピーチを聞き、相手にまっすぐ向き合っていることを感じさせ、体育館の空気が澄んでいくようでした。

もっと素晴らしかったことは、そのあと、何人かが感想を全体場で話したことです。真剣に話した6人に対して、感じたことを自分の言葉で話していました。話し方の良さ、内容への気づき、自分の思い、真摯に伝えようとしていました。聴く側は、誰もが話す相手が立つ位置に合わせて、身体の向きを自然に変えていました。さすが高学年です。誰の指導も必要ありませんでした。そういった姿にも感動しました。

最後に、時間をもらったので、私も話をしました。スピーチの素晴らしさをほめようと考えていたのですが、それは、子どもたち同士で十分伝え合っていたので、相手に向き合ったことをほめました。そして、地域の方のお褒めの言葉を伝え、5年生6年生の真剣さに良い時間をもらったことに感謝して話を終えました。

そのあと、実は、ちょっとしたサプライズがありました。なんと、6年生から5年生へのメッセージを伝える「かがやき集会」が準備されていました。委員会活動が始まって、2か月になり、6年生が5年生の活動の様子をよく見ている、その頑張りを伝えてくれたのです。初めての委員会活動で、張り切る気持ちもあったり不安な気持ちもあったりした2か月間を、そばで見ている6年生がしっかりと言葉にし、これからも一緒にいい学校にしていこうとまとめてくれたのです。なんて、素敵な高学年の姿でしょう。さすが、六つ小のリーダーです。5年生もきっと6年生と共にリーダーらしくなってくれることでしょう。

6月には、くすのき会(地域の方々と学校との懇談会)、学校説明会、授業参観等が予定されています。その場でも、子どもたちの普段の様子や見つけた輝きをお伝えできたらと思っています。また、今月は、水泳学習も始まります。安全に水泳学習を行う為、ご家庭での体調管理をしっかりといただきませうようお願いいたします。この2か月の間には、心配なことをご連絡いただき、指導につなげていることももちろんあります。今後とも、子どもたちを共に育てる気持ちで、輝く姿を増やしていきたいと思っています。今月もご理解、ご協力をお願い申し上げます。